

1. こんにちは。にほんご きょうし 日本語 教師のまみです。

안녕하세요. 일본어 교사 마미입니다.

2. さいきん 最近, いかがおすごしですか？

요즘 어떻게 지내고 계세요?

3. きせつ 季節はめぐって, にほん 日本では いちねんじゅう 一年中, なに どこかで何かのお祭りが開かれています。

계절이 돌고 돌아서, 일본에서는 일 년 내내, 어딘가에서 무언가의 축제가 열리고 있어요.

4. そう, きょう 今日のテーマは, にほん まつ 日本のお祭りとイベント"です。

네, 오늘의 주제는, "일본의 축제와 이벤트"예요.

5. みな 皆さんは, にほん まつ い 日本のお祭りに, 行ったことがありますか？ まだの人も, ひと しんぱい 心配いりません。

여러분은 일본 축제에, 가 본 적 있으세요? 아직 안 가 보신 분도, 걱정하지 마세요.

6. きょう わたし いっしょ ことば まつ たの 今日, 私と一緒に, 言葉でお祭りを楽しんでもみましょう。 さて, しつもん 質問です。

오늘은 저와 함께, 말로 축제를 즐겨 보도록 해요. 자, 먼저 질문이에요.

7. "まつ 祭り"と聞いて, き みな なに おも う 皆さんは何を思い浮かべますか？ きれいな花火でしょうか。

"축제"라고 하면, 여러분은 뭐가 떠오르세요? 예쁜 불꽃놀이일까요.

8. それとも, やたい 屋台のいいにおいででしょうか。

아니면, 포장마차의 좋은 냄새일까요.

9. わたし ま さき おも だ なつ よる くうき にほん なつ ほんとう あつ 私が真っ先に思い出すのは, 夏の夜の,あの空気です。 日本のお夏は, 本 当に暑いです。

제가 제일 먼저 떠올리는 건, 여름밤의, 그 공기예요. 일본의 여름은, 정말 더워요.

10. じめじめして, あせ 汗もかきます。

눅눅하고, 땀도 나요.

11. でも, ゆうがた 夕方になって, すこ すず かぜ ふ 少 しい風が吹いてくると, どこからか たいこ おと き 太鼓の音が聞こえてくるんですね。

그런데 저녁이 되어서, 살짝 시원한 바람이 불어오면, 어디선가 북소리가 들려오거든요.

12. ドンドン, という, おなかに ひび おと 響くような音です。

둥둥, 하는, 배 속까지 울리는 듯한 소리예요.

13. その音を聞くと, "あ, お祭りが始まるな" と, 心がそわそわしてきます。

그 소리를 들으면, "아, 축제가 시작되는구나" 하고, 마음이 두근두근해져요.

14. このそわそわする感じ, 韓国の皆さんにも, きっと分かってもらえるとと思います。

이 두근거리는 느낌, 한국 여러분도, 분명 공감해 주실 거라고 생각해요.

15. では, まず, 日本の夏 祭りについて, 話していきたいとと思います。

그럼 먼저, 일본의 여름 축제에 대해, 이야기해 보려고 해요.

16. 日本の夏 祭りには, たくさんの屋台が並びます。

일본의 여름 축제에는, 수많은 포장마차가 늘어서 있어요.

17. "屋台"というのは, 道や広場に出る, 小さなお店のことです。

"포장마차"라는 건, 길이나 광장에 나오는, 작은 가게를 말해요.

18. 食べ物を売っているお店が多いですね。たとえば, たこ焼き。

음식을 파는 가게가 많아요. 예를 들면, 다코야키.

19. 小麦粉の生地の中に, 小さく切ったタコを入れて, 丸く焼いた食べ物です。

밀가루 반죽 안에, 잘게 자른 문어를 넣어서, 동그랗게 구운 음식이에요.

20. 外はカリッと, 中はとろっとしていて, 本当においしいです。

겉은 바삭, 속은 몽글몽글해서, 정말 맛있어요.

21. それから, りんご飴。

그리고, 사과엿.

22. りんごに, あまいシロップを, かたくコーティングしたものです。

사과에, 달콤한 시럽을, 딱딱하게 코팅한 거예요.

23. 赤くてつやつやしていて, 見た目もとてもかわいいんですよ。

빨강고 반질반질해서, 보기에 정말 예쁘답니다.

24. そして, 子どもに大人気なのが, 金魚すくいです。金魚すくい, 知っていますか?

그리고, 아이들에게 인기 만점인 게, 금붕어 건지기예요. 금붕어 건지기, 아세요?

25. 水の中を泳いでいる金魚を, "ポイ" という, 紙でできた小さな道具ですくう遊びです。

물속을 헤엄치는 금붕어를, "포이"라는, 종이로 만든 작은 도구로 건지는 놀이예요.

26. この紙が、^{かみ}すぐに^{やぶ}破れてしまうんです。だから、なかなかうまくすぐえません。

이 종이가, 금방 찢어져 버려요. 그래서, 좀처럼 잘 건지지 못해요.

27. でも、それがまた、おもしろいんですね。^{わたし こ}私も^{なんかい ちょうせん}子どものころ、何回も挑戦しました。

그런데, 그게 또, 재미있단 말이죠. 저도 어릴 때, 몇 번이나 도전했어요.

28. そして、ほとんど^と取れずに、^な泣きそうになっていました。

그리고, 거의 못 건져서, 울상이 되곤 했어요.

29. あとは、^{しゃてき}射的^{あそ}という遊びもあります。

그리고, 사격이라는 놀이도 있어요.

30. "^{しゃてき}射的"は、^{たま で}コルクの弾が出るおもちゃの^{てっぽう たな なら}鉄砲で、^{けいひん}棚に並んだ^{あそ}景品をねらう遊びです。

"사격"은, 코르크 총알이 나가는 장난감 총으로, 선반에 진열된 경품을 노리는 놀이예요.

31. ^{かし}お菓子^あやおもちゃが当たると、それをもらえます。

과자나 장난감을 맞히면, 그걸 받을 수 있어요.

32. これも、^{み め}見た目より、^{むずか}ずっと難しいんですよ。

이것도, 보기보다, 훨씬 어렵답니다.

33. ^{みな}皆さんは、^{やたい あそ}こういう屋台の遊び、やってみたいですか？

여러분은, 이런 포장마차 놀이, 해 보고 싶으세요?

34. そして、^{なつまつ}夏祭り^{ゆかた わす}といえば、浴衣も忘れてはいけません。^{ゆかた き}浴衣,聞いたことがありますか？

그리고, 여름 축제 하면, 유카타도 빼놓을 수 없죠. 유카타, 들어 보신 적 있으세요?

35. ^{ゆかた なつ き}浴衣は、夏に着る、^{かる わ ふく}うすくて軽い、和の服です。

유카타는, 여름에 입는, 얇고 가벼운, 일본 전통 옷이에요.

36. ^{きもの}着物の、^{おも}カジュアルなバージョンだと思ってください。

기모노의, 캐주얼 버전이라고 생각하시면 돼요.

37. ^{きもの}着物は、^{きじ あつ き}生地も厚くて、^{むずか}着るのも^{ねだん たか}難しくて、お値段も高いです。

기모노는, 천도 두껍고, 입기도 어렵고, 가격도 비싸요.

38. ^{ゆかた}でも, ^{きがる}浴衣は, ^きそれよりずっと気軽に着られます。

그런데, 유카타는, 그것보다 훨씬 편하게 입을 수 있어요.

39. ^{なつまつ}夏 ^{よる}祭りの夜に, ^{ゆかた}浴衣を^き着て, ^{げた}下駄を^{ある}はいて歩きます。

여름 축제가 있는 밤에, 유카타를 입고, 게타를 신고 걸어요.

40. ^{げた}"下駄" ^き이라는のは, ^わ木で^きできた, ^わ和の^きサンダルのことです。

"게타"라는 건, 나무로 만든, 일본식 샌들을 말해요.

41. ^{ある}歩くと, ^{おと}カラン, ^{おと}コロン, ^{なつ}という音^{ふうぶつし}がします。この音も, ^{おと}夏^{なつ}の^{ふうぶつし}風物詩^{なつ}なんですよ。

걸으면, 딸그락, 딸그락, 하는 소리가 나요. 이 소리도, 여름의 풍물시랍니다.

42. ^{ふうぶつし}"風物詩" ^{きせつ}이라는のは, ^{かん}その季節^{いみ}を感じ^{ことば}させるもの, ^{いみ}という意味^{ことば}の言葉^{ことば}です。

"풍물시"라는 건, 그 계절을 느끼게 해 주는 것, 이라는 뜻의 말이에요.

43. ^{すこ}少し ^{むずか}難^{ことば}しい言葉^{おぼ}ですが, ^{べんり}覚えて^{べんり}おくと便利^{べんり}ですよ。

조금 어려운 말이지만, 알아 두면 유용해요.

44. さて, ^{にほん}ここで, ^{ゆうめい}日本の有名^{まつ}な^{しょうかい}お祭り^{おも}を, ^{しょうかい}いくつか^{おも}紹介^{しょうかい}したい^{おも}と思います。

자, 여기서, 일본의 유명한 축제를, 몇 가지 소개해 드리려고 해요.

45. ^{にほん}まず, ^{にほんさんだいまつ}日本三^よ大^{とく}祭り^{ゆうめい}"日本三^{みつ}大^{まつ}祭り" ^{まつ}と呼ば^{まつ}れる, ^{まつ}特に有名^{まつ}な三^{まつ}つのお祭り^{まつ}があります。

먼저, 일본에는, "일본 3대 축제"라고 불리는, 특히 유명한 세 개의 축제가 있어요.

46. ^{ひと}一つ ^め目は, ^{きょうと}京都^{ぎおんまつり}の^{ぎおんまつり}祇園祭^{ぎおんまつり}です。

첫 번째는, 교토의 기온 마쓰리예요.

47. ^{ぎおんまつり}祇園祭^{しちがつ}は, ^{つき}七月^{おこな}の^{なが}ひと月^{なが}を^{なが}かけて^{なが}行^{なが}われる, ^{なが}とても^{なが}長い^{なが}お祭り^{なが}です。

기온 마쓰리는, 7월 한 달 내내 열리는, 아주 긴 축제예요.

48. ^{やまぼこ}"山鉾"^{おお}(^{ごうか}やま^{だし}ぼこ) ^{おお}という, ^{ごうか}大きくて^{だし}豪華^{まち}な山車^{すす}(^{すす}だし) ^{すす}が, ^{すす}町^{すす}を^{すす}ゆっくり^{すす}進^{すす}んで^{すす}い^{すす}きます。

"야마보코"라는, 크고 화려한 수레가, 거리를 천천히 나아가요.

49. ^{だし}"山車"^{ひと}(^ひだし) ^{うご}이라는のは, ^{かざ}人が^{かざ}引^{かざ}いて^{かざ}動^{かざ}かす, ^{かざ}飾^{かざ}りの^{かざ}ついた^{かざ}大きな^{かざ}車^{かざ}のこと^{かざ}です。

"다시"라는 건, 사람이 끌어서 움직이는, 장식이 달린 커다란 수레를 말해요.

50. ^{ぎおんまつり}この^{じつ}祇園祭^{せんねんいじょう}, ^{れきし}実は^{れきし}千^{れきし}年^{れきし}以上^{れきし}の^{れきし}歴史^{れきし}が^{れきし}あり^{れきし}ます。

이 기온 마쓰리, 사실은 천 년이 넘는 역사를 가지고 있어요.

51. ^{びょうき} ^{はや} ^{かみさま} ^{ねが} ^{ぎょうじ}
もともとは、病気が流行しないように、神様にお願いするための行事でした。

원래는, 병이 퍼지지 않도록, 신에게 빌기 위한 행사였어요.

52. ^{むかし} ^{ひと} ^{びょうき} ^{さいがい} ^{かみさま} ^{ちから} ^{ふせ}
昔の人は、病気や災害を、神様の力で防ごうとしたんですね。

옛날 사람들은, 병이나 재해를, 신의 힘으로 막으려고 했던 거죠.

53. ^{まつ} ^{しゅうきょうてき} ^{いみ} ^{れきしてき} ^{はいけい} ^{おお}
お祭りには、こういう、宗教的な意味や、歴史的な背景があることが多いです。

축제에는, 이렇게, 종교적인 의미나, 역사적인 배경이 있는 경우가 많아요.

54. ^{たの} ^{ふた} ^め ^{おおさか} ^{てんじんまつり}
ただ楽しいだけではないんですね。二つ目は、大阪の天神祭です。

그냥 즐겁기만 한 게 아니더라고요. 두 번째는, 오사카의 텐진 마쓰리예요.

55. ^{てんじんまつり} ^{がくもん} ^{かみさま} ^{まつ}
天神祭は、学問の神様をまつお祭りです。

텐진 마쓰리는, 학문의 신을 모시는 축제예요.

56. ^{まつ} ^み ^{よる} ^{はなび}
このお祭りのいちばんの見どころは、夜の花火です。

이 축제의 가장 큰 볼거리는, 밤의 불꽃놀이예요.

57. ^{かわ} ^{うえ} ^{ふね} ^う ^{うえ} ^{はなび} ^て
川の上に、たくさんの船が浮かんで、その上を花火が照らします。

강 위에, 수많은 배가 떠 있고, 그 위를 불꽃이 비춰 줘요.

58. ^ひ ^{みず} ^{いっしょ} ^{けしき} ^{ほんとう} ^{げんそうてき}
火と水と一緒にになった景色は、本当に幻想的ですよ。

불과 물이 함께 어우러진 풍경은, 정말 환상적입니다.

59. ^{みつ} ^め ^{とうきょう} ^{かんだまつり}
三つ目は、東京の神田祭です。

세 번째는, 도쿄의 간다 마쓰리예요.

60. ^{かんだまつり} ^{みこし} ^{まち} ^{まわ}
神田祭では、たくさんのお神輿(みこし)が町を回ります。

간다 마쓰리에서는, 수많은 미코시가 거리를 돌아요.

61. ^{みこし} ^{かみさま} ^の ^{ちい} ^{いどうしき} ^{やしろ}
"お神輿"というのは、神様が乗る、小さな移動式のお社(やしろ)のことです。

"미코시"라는 건, 신이 타는, 작고 이동 가능한 신사를 말해요.

62. ^{やしろ} ^{かみさま} ^{ちい} ^{たてもの}
"お社(やしろ)"は、神様がいる, 작은建物のことですね。

"야시로"는, 신이 계시는, 작은 건물을 말하는 거예요.

63. ^{みこし} ^{おおぜい} ^{ひと} ^{かた} ^{まち} ^{なか} ^ね ^{ある}
このお神輿を、大勢の人が肩にかついで、町の中を練り歩きます。

이 미코시를, 많은 사람이 어깨에 메고, 거리를 행진해요.

64. ^{こえ} ^き
"わっしょい,わっしょい"というかけ声を、聞いたことはありますか?

"왓쇼이, 왓쇼이" 라는 구호, 들어 보신 적 있으세요?

65. これは、お神輿^{みこし}をかつぐときの、元気なかけ声^{げんき ごえ}です。

이건, 미코시를 멜 때 외치는, 힘찬 구호예요.

66. では、どうして、重いお神輿^{おも みこし}を、わざわざかついで歩く^{ある}のでしょうか？

그럼, 왜, 무거운 미코시를, 굳이 메고 걷는 걸까요?

67. これには、意味^{いみ}があります。

여기에는, 의미가 있어요.

68. お祭りの間^{まつ あいだ}かみさま、お神輿^{みこし}に乗って、町^{の まち}をぐるっと見て回る^{み まわ}んですね。

축제 기간 동안, 신이, 미코시를 타고, 마을을 빙 둘러보는 거예요.

69. そして、その地域^{ちいき まも}を守ってくれる、と考^{かんが}えられています。

그리고, 그 지역을 지켜 준다고, 여겨지고 있어요.

70. つまり、お神輿^{みこし}は、神様^{かみさま}の乗^のり物^{もの}なんです。

즉, 미코시는, 신의 탈것인 셈이에요.

71. そう考^{かんが}えると、お神輿^{みこし}をかつぐ人たちの表^{ひと ひょう}情^{じょう}が、とても真^{しん}剣^{けん}な理^り由^{ゆう}も分^わかりますよ。

그렇게 생각하면, 미코시를 메는 사람들의 표정이, 아주 진지한 이유도 이해가 가시죠.

72. 三^{さん}大^{だい}祭^{まつ}り以外^{いがい}にも、ぜひ知^しってほし^{まつ}いお祭^{あおもり}りがあ^{まつ}ります。た^{まつ}とえ^{まつ}ば、青^あ森^{おもり}のねぶ^{まつ}た^{まつ}祭^{まつ}。

3대 축제 말고도, 꼭 알아 두셨으면 하는 축제가 있어요. 예를 들면, 아오모리의 네부타 마쓰리.

73. これは、大^{おお}きな紙^{かみ}の^{にんぎょう}人^{なか}形^あの中^いに、明^{ひか}かりを^{きょだい}入^{とうろう}れて^ひ光^{まわ}らせた、巨^{まつ}大^{まつ}な灯^{まつ}籠^{まつ}を^{まつ}引^{まつ}いて回^{まつ}るお祭^{まつ}りです。

이건, 커다란 종이 인형 안에, 불을 넣어서 빛나게 만든, 거대한 등롱을 끌고 도는 축제예요.

74. その大^{おお}きさと^{はくりょく}迫^{あつとう}力^{とくしま}に、みん^{あわ}な^{おど}圧^{おど}倒^{おど}されま^{おど}す。そ^{おど}れ^{おど}か^{おど}ら、徳^{とく}島^{しま}の阿^あ波^あ踊^{おど}り。

그 크기와 박력에, 다들 압도되고 말아요. 그리고, 도쿠시마의 아와오도리.

75. これは、独^{どく}特^{とく}の^あリズ^あム^あに合^あわせ^あて、た^あく^あさ^あん^あの^あ人^あが^あ一^あ緒^あに^あ踊^ある^あお祭^あり^あです。

이건, 독특한 리듬에 맞춰서, 수많은 사람이 함께 춤추는 축제예요.

76. "踊^{おど}る^{あほう}阿^{あほう}呆^{おな}に^{あほう}見^{おど}る^{おど}阿^{おど}呆^{おど}、同^{おど}じ^{おど}阿^{おど}呆^{おど}なら^{おど}踊^{おど}ら^{おど}な^{おど}損^{おど}々^{おど}" 이^{おど}う^{おど}い^{おど}う、有^{おど}名^{おど}な^{おど}言^{おど}葉^{おど}が^{おど}あ^{おど}ります。

"춤추는 바보에 구경하는 바보, 같은 바보라면 춤추지 않으면 손해" 라는, 유명한 말이 있어요.

77. おど ひと み ひと おな おど そんな "踊る人も, 見ている人も, 同じばかなんだから, 踊らないと損だよ"

"춤추는 사람도, 보는 사람도, 어차피 다 같은 바보니까, 안 추면 손해야"

78. たの いみ わたし ことば むかし だいす という, とても楽しい意味なんですよ。 私はこの言葉が, 昔から大好きです。

라는, 아주 재미있는 뜻입니다. 저는 이 말을, 예전부터 정말 좋아해요.

79. ふゆ さっぽろ ゆき そして, 冬には, 札幌の雪まつりがあります。

그리고, 겨울에는, 삿포로 눈 축제가 있어요.

80. ゆき こおり つく おお せいこう そう なら 雪と氷で作った, 大きくて精巧な像が, たくさん並びます。

눈과 얼음으로 만든, 크고 정교한 조각상이, 잔뜩 늘어서 있어요.

81. さむ ほっかいどう 寒い 北海道 だからこそできる, すばらしいイベントですよ。

추운 홋카이도이기에 가능한, 멋진 이벤트죠.

82. すこ わたし じもと まつ はなし ここで, 少しでも, 私の地元のお祭りの話も, させてください。

여기서, 잠깐, 제 고향 축제 이야기도, 해 볼게요.

83. わたし じもと ちい なつまつ ゆうめい まつ 私の地元にも, 小さな夏祭りが 있습니다。有名なお祭りではありません。

제 고향에도, 작은 여름 축제가 있어요. 유명한 축제는 아니에요.

84. こ わたし いちねん たの でも, 子どものころの私にとっては, 一年でいちばんの楽しみでした。

그런데, 어린 시절의 저에게는, 일 년 중 가장 큰 기대였어요.

85. こづか とも やたい まわ ごおり た お小遣いをもらって, 友だちと屋台を回って, かき氷を食べます。

용돈을 받아서, 친구랑 포장마차를 돌아다니면서, 빙수를 먹어요.

86. とくべつ み たったそれだけのことが, 特別にきらきらして見えました。

그저 그것뿐인 일이, 유난히 반짝반짝하게 보였어요.

87. おとな いま よる けしき おも だ むね あたた 大人になった今でも, あの夜の景色を思い出すと, なんだか胸が温かくなります。

어른이 된 지금도, 그날 밤 풍경을 떠올리면, 왠지 마음이 따뜻해져요.

88. みな おも で 皆さんにも, そういう思い出はありますか?

여러분에게도, 그런 추억이 있으세요?

89. さいご まつ いがい ねんじゅうぎょうじ すこ しょうかい 最後に, お祭り以外の 年中 行事も, 少し 紹介しておきますね。

마지막으로, 축제 말고 다른 연중행사도, 잠깐 소개해 드릴게요.

90. ねんじゅうぎょうじ まいとし き じき おこな ぎょうじ " 年中 行事 " というのは, 毎年, 決まった時期に行う行事のことです。

"연중행사"라는 건, 매년, 정해진 시기에 치르는 행사를 말해요.

91. たとえば、お正月。一年の始まりに、神社やお寺にお参りに行きます。

예를 들면, 설날. 한 해가 시작될 때, 신사나 절에 참배하러 가요.

92. これを"初詣"と言います。それから、二月の節分。

이걸 "하쓰모데"라고 해요. 그리고, 2월의 세쓰분.

93. "鬼は外,福は内"と言いながら、豆をまいて、悪いものを追い払う行事です。

"귀신은 밖으로, 복은 안으로" 라고 외치면서, 콩을 뿌려, 나쁜 것을 쫓아내는 행사예요.

94. そして、七月の七夕。

그리고, 7월의 다나바타.

95. 短冊という細長い紙に、願いごとを書いて、笹(ささ)の葉にかざります。

단자쿠라는 길쭉한 종이에, 소원을 적어서, 조릿대 앞에 걸어 놓아요.

96. 皆さんなら、どんな願いごとを書きますか?

여러분이라면, 어떤 소원을 적으시겠어요?

97. こうして見てみると、日本には、本当に一年中、いろいろな行事があるんですね。

이렇게 보니, 일본에는, 정말 일 년 내내, 다양한 행사가 있네요.

98. そして、その一つ一つに、昔の人の願いや祈りが、こめられています。

그리고, 그 하나하나에, 옛날 사람들의 소망과 기도가, 담겨 있어요.

99. さあ、今日のお話は、このあたりで終わりにしましょう。

자, 오늘 이야기는, 이쯤에서 마무리할게요.

100. 日本のお祭りとイベントの世界、楽しんでもらえましたか?

일본의 축제와 이벤트의 세계, 즐겁게 들으셨나요?

101. もし、これから日本に行く機会があったら、ぜひ、その季節のお祭りを、調べてみてください。

혹시, 앞으로 일본에 갈 기회가 있으시면, 꼭, 그 계절의 축제를, 찾아봐 주세요.

102. そして、できれば、浴衣を着て、屋台を回って、あの夏の夜の空気を、肌で感じてほしいなと思います。

그리고, 가능하다면, 유카타를 입고, 포장마차를 돌아다니면서, 그 여름밤의 공기를, 직접 느껴 보셨으면 좋겠어요.

103. きっと、忘れられない思い出になりますよ。

분명, 잊지 못할 추억이 될 거예요.

104. きょう さいご き 今日も,最後まで聞いてくれて, ありがとうございます。

오늘도, 끝까지 들어 주셔서, 감사했습니다.

105. じかい ばしょ あ それでは,また次回,この場所でお会いしましょう。どうぞ,よい一日を。 いちにち

그럼, 다음에도, 이 자리에서 만나요. 그럼, 좋은 하루 보내세요.
